

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日
東

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス 上場取引所
コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 健一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,677	4.6	209	△3.6	220	2.3	36	△52.7
27年3月期第2四半期	12,123	10.4	217	△10.7	215	△16.3	76	259.9
(注) 包括利益 28年3月期第2四半期	52百万円(△30.4%)						74百万円(△17.2%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.02	5.02
27年3月期第2四半期	10.62	10.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,187	4,364	35.4
27年3月期	11,292	4,489	39.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,316百万円 27年3月期 4,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	25.00	25.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	7.5	690	19.6	650	4.8	300	9.9	41.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,192,500株	27年3月期	7,190,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	137株	27年3月期	137株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,190,612株	27年3月期2Q	7,180,655株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大手企業を中心に収益改善や賃金の上昇など景気回復の流れは継続しているものの、中国や新興国の景気減速が企業業績へ波及する懸念から株式市場が調整する等力強さに欠ける展開となりました。

このような環境の中、外食産業におきましても、輸入食品の価格上昇等による個人消費の足踏みや食材価格の高騰や人手不足による人件費の高止まりから経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、「国内・海外合計500店舗体制への基礎作り仕上げ期」と位置づけ、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、店舗価値の向上や人材の育成に継続して取り組むとともに、コーポレート・ガバナンスの強化による企業価値の向上にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営5店舗、フランチャイズ4店舗を新規に出店し、海外におきましては、直営店を米国ニューヨーク州で1店舗、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店を台湾で1店舗、インドネシア共和国で1店舗、中国上海市で1店舗、新規に出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間中に合計13店舗を出店したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で423店舗（うち国内直営144店舗、国内フランチャイズ191店舗、海外直営13店舗、海外フランチャイズ75店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、食材価格、人件費の上昇の影響もあり、売上高は12,677百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益209百万円（同3.6%減）、経常利益220百万円（同2.3%増）となり、国内における直営店舗売却益10百万円を特別利益に計上する一方、国内における減損損失18百万円及び社葬関連費用26百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が133百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円（同52.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」5店舗（エトモ市が尾店、イオンモール高の原店、丸井錦糸町店、イオン明石店、テラッソ姫路店）の新規出店がありましたが、1店舗（新宿スパルビル店）の閉店がありました。また、国内直営事業でありました5店舗（赤羽駅東口店、アルカキット錦糸町店、ココリア多摩センター店、テラスモール湘南店、モラージュ菖蒲店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」141店舗、「おとや」等他業態3店舗の総計144店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は7,153百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益94百万円（同46.0%減）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」4店舗（LaLaテラス南千住店、函館漁火通り店、高針店、コクーンシティ店）の新規出店がありましたが、1店舗（イオンモール天童店）の閉店がありました。また、5店舗（赤羽駅東口店、アルカキット錦糸町店、ココリア多摩センター店、テラスモール湘南店、モラージュ菖蒲店）について国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」191店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3,885百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益515百万円（同2.3%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、13店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に4店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗、大戸屋（上海）餐饮管理有限公司が中国上海市において1店舗）稼働しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,358百万円（前年同期比40.7%増）、営業損失167百万円（前年同期は147百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、75店舗（タイ王国において45店舗、台湾において23店舗、インドネシア共和国において6店舗、中国上海市において1店舗）を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は145百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益50百万円（同27.8%増）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であり、当第2四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールドがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所が食育事業等を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTDが当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業等をタイ王国で行っており、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. が海外向け食材販売の一部を行ったことにより当第2四半期連結累計期間の売上高は133百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比77.2%増）、営業利益28百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金3,488百万円を主なものとして5,084百万円（前連結会計年度末比19.8%増）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産4,399百万円と敷金及び保証金1,868百万円を主なものとして7,102百万円（同0.8%増）であり、資産合計では12,187百万円（同7.9%増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加したためであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、1年内返済予定の長期借入金1,706百万円、買掛金1,034百万円及び未払金675百万円を主なものとして4,079百万円（前連結会計年度末比18.1%減）、固定負債は、長期借入金2,267百万円を主なものとして3,743百万円（同105.7%増）であり、負債合計では7,822百万円（同15.0%増）となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,364百万円（前連結会計年度末比2.8%減）となり、自己資本比率は35.4%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により222百万円を獲得し、投資活動により472百万円を使用し、財務活動により1,113百万円を調達した結果、3,374百万円（前連結会計年度末比34.5%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は222百万円（前年同期比35.4%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益175百万円を計上し、減価償却費482百万円等の非資金的費用がありましたが、未払金の減少による支出92百万円、未払消費税等の減少による支出221百万円、法人税等の支払による支出171百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は472百万円（前年同期比19.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出481百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、調達した資金は1,113百万円（前年同期比45.5%増）となりました。これは主に、借入金の返済による支出が2,005百万円と配当金の支払額179百万円がありましたが、借入による収入が3,400百万円あったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日（平成27年11月6日）公表の「平成28年3月期 第2四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成27年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,129	3,488,060
受取手形及び売掛金	854,912	839,950
原材料及び貯蔵品	70,353	105,274
その他	695,386	651,185
流動資産合計	4,243,782	5,084,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,809,556	2,887,300
工具、器具及び備品（純額）	1,078,643	1,103,637
その他（純額）	476,774	408,313
有形固定資産合計	4,364,974	4,399,251
無形固定資産		
のれん	103,453	96,487
その他	97,417	90,605
無形固定資産合計	200,870	187,093
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,807,968	1,868,482
その他	675,118	647,899
投資その他の資産合計	2,483,087	2,516,382
固定資産合計	7,048,932	7,102,727
資産合計	11,292,714	12,187,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,091,533	1,034,144
1年内返済予定の長期借入金	2,206,858	1,706,258
リース債務	190,541	174,110
未払金	797,139	675,960
未払法人税等	119,732	127,015
賞与引当金	55,545	63,939
店舗閉鎖損失引当金	2,496	—
その他	519,230	298,164
流動負債合計	4,983,076	4,079,592
固定負債		
長期借入金	372,390	2,267,686
リース債務	330,783	305,908
退職給付に係る負債	271,794	269,949
資産除去債務	305,766	313,109
その他	539,431	586,640
固定負債合計	1,820,167	3,743,293
負債合計	6,803,244	7,822,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,470,089	1,471,355
資本剰余金	1,388,289	1,389,555
利益剰余金	1,397,147	1,253,525
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,255,404	4,114,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,234	45,872
為替換算調整勘定	162,743	165,000
退職給付に係る調整累計額	△10,235	△8,220
その他の包括利益累計額合計	192,741	202,652
新株予約権	931	808
非支配株主持分	40,392	46,535
純資産合計	4,489,470	4,364,312
負債純資産合計	11,292,714	12,187,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	12,123,729	12,677,088
売上原価	5,297,522	5,614,114
売上総利益	6,826,206	7,062,974
販売費及び一般管理費	6,608,822	6,853,339
営業利益	217,384	209,635
営業外収益		
受取利息	755	554
受取配当金	43	294
協賛金収入	17,839	16,706
その他	7,658	19,620
営業外収益合計	26,296	37,175
営業外費用		
支払利息	24,616	25,311
為替差損	3,310	738
その他	71	86
営業外費用合計	27,998	26,136
経常利益	215,682	220,673
特別利益		
店舗売却益	65,586	10,793
特別利益合計	65,586	10,793
特別損失		
固定資産除却損	25,374	7,880
減損損失	13,494	18,852
社葬関連費用	—	26,174
その他	3,958	3,065
特別損失合計	42,828	55,972
税金等調整前四半期純利益	238,440	175,494
法人税等	159,959	133,087
四半期純利益	78,481	42,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,187	6,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,293	36,124

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	78,481	42,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,511	5,638
為替換算調整勘定	△19,913	2,117
退職給付に係る調整額	1,878	2,015
その他の包括利益合計	△3,523	9,771
四半期包括利益	74,957	52,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,349	46,035
非支配株主に係る四半期包括利益	1,607	6,142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	238,440	175,494
減価償却費	444,713	482,770
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,481	8,210
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△1,660	△2,496
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,352	1,172
受取利息及び受取配当金	△798	△848
支払利息	24,616	25,311
店舗売却損益(△は益)	△65,586	△10,793
固定資産除却損	25,374	7,880
減損損失	13,494	18,852
売上債権の増減額(△は増加)	15,331	14,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,012	△34,761
預け金の増減額(△は増加)	1,088	25,944
前払費用の増減額(△は増加)	△33,683	△27,892
未収入金の増減額(△は増加)	△36,081	13,578
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,395	△58,000
未払金の増減額(△は減少)	△123,943	△92,052
未払費用の増減額(△は減少)	18,689	△11,853
未払消費税等の増減額(△は減少)	91,689	△221,525
その他	43,918	45,641
小計	621,031	359,549
利息及び配当金の受取額	565	652
利息の支払額	△25,531	△26,287
法人税等の還付額	61,461	59,689
法人税等の支払額	△313,393	△171,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	344,133	222,357

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△1,038	—
貸付金の回収による収入	10,063	5,282
有形固定資産の取得による支出	△505,176	△481,261
無形固定資産の取得による支出	△92,339	△673
店舗売却による収入	104,258	38,486
長期前払費用の取得による支出	△18,348	△23,615
敷金及び保証金の差入による支出	△76,935	△26,002
敷金及び保証金の回収による収入	41,904	43,770
その他	△52,800	△28,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590,412	△472,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△700,000
長期借入れによる収入	1,500,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△497,904	△1,305,304
株式の発行による収入	2,892	2,410
リース債務の返済による支出	△95,277	△103,854
配当金の支払額	△143,954	△179,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	765,756	1,113,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,518	1,398
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	511,957	864,930
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,369	2,509,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,584,327	3,374,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,397,089	3,521,446	965,811	163,890	12,048,237	75,492	12,123,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	178,330	178,330
計	7,397,089	3,521,446	965,811	163,890	12,048,237	253,822	12,302,059
セグメント利益又は損失(△)	174,733	503,718	△147,694	39,237	569,994	△10,280	559,714

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	569,994
「その他」の区分の利益	△10,280
セグメント間取引消去	△36,752
全社費用(注)	△305,576
四半期連結損益計算書の営業利益	217,384

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗の譲受けを行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、90,221千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,153,946	3,885,225	1,358,774	145,378	12,543,325	133,763	12,677,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	272,186	272,186
計	7,153,946	3,885,225	1,358,774	145,378	12,543,325	405,949	12,949,275
セグメント利益又は損失(△)	94,382	515,359	△167,049	50,164	492,858	28,295	521,153

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,858
「その他」の区分の利益	28,295
セグメント間取引消去	6,104
全社費用(注)	△317,622
四半期連結損益計算書の営業利益	209,635

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。